

地球温暖化対策実施状況書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 （届出者）の名称	イオンリテール株式会社
地球温暖化対策事業者 （届出者）の住所	千葉県千葉市美浜区中瀬1-5-1
工場等の名称	イオンリテール株式会社 イオン八事店
工場等の所在地	愛知県名古屋市中昭和区広路町字石坂2-1
業種	卸売業、小売業
業務部門における 建築物の主たる用途	物販店
建築物の所有形態	賃貸ビル等（賃貸している建築物）
事業の概要	各種商品の販売及び飲食
計画期間	令和4年4月1日 ～ 令和7年3月31日

2 地球温暖化対策実施状況書の公表方法等

公表期間	令和4年4月24日 ～ 令和4年7月23日		
公表方法	○	揭示 閲覧	（場所）イオン八事店、事務所
		ホーム ページ	（HPアドレス）
		冊子	（冊子名・ 入手方法）
		その他	（その他詳細）
公表に係る問合せ先	052-836-7015		

3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

イオンリテール(株)は、「お客様第一」を基本に、小売業として、お客様に安全で・安心してご利用いただける商品・サービスの提供、店舗づくりを通じて豊かな暮らしと地域環境保全の両立を目指し、循環型社会の構築に寄与していきます。
環境マネジメントシステムにより事業における汚染の予防に取り組むとともにより少ない環境負荷で、より大きな価値を生み出せるような仕事の仕組みを作り環境効率を向上させます。

(2) 地球温暖化対策の推進体制

最高責任者…代表進行役社長

環境総括責任者…営業担当役員

環境管理責任者…総務担当役員

ISO推進責任者…店長

ISO推進担当者…総務課長

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 1 年度目（令和 4 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		2,951	t-CO ₂
（温室①を酸効除炭ガス換算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）	2,951	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量及び原単位排出量
------------------	--------------

項 目	基準年度の実績		目 標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
温室効果ガス総排出量	3,018	t-CO ₂	2,958	t-CO ₂	2,951	t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対 基準年度）			2.0	%	2.2	%		%		%
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対 基準年度）						%		%		%

項 目	基準年度の実績		目 標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
原単位あたりの排出量	49.03	kg-CO ₂ / m ²	48.05	kg-CO ₂ / m ²	47.95	kg-CO ₂ / m ²		kg-CO ₂ / m ²		kg-CO ₂ / m ²
削減率（対 基準年度）			2.0	%	2.2	%		%		%
原単位あたりのみなし排出量						kg-CO ₂ / m ²		kg-CO ₂ / m ²		kg-CO ₂ / m ²
削減率（対 基準年度）						%		%		%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

秋以降に全社による節電の取り組みを実施し、その効果があることが達成の理由と思います。 主な取り組み：柱周り照明の間引き、空調運転を送風または外気空調の適正利用、食品冷ケース設定温度見直し等

備考 1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考 2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考 3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

備考 4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネルギー・ 省資源の行動の 実践 ・冷暖房	・冷房 28℃を徹底する。	事務所等後方エリアを優先して実践する	社会情勢に伴う換気の推進により、徹底はできませんでした。
省エネルギー・ 省資源の行動の 実践 ・照明	・使用していない部屋、通路、時間外の消灯を徹底する。 ・営業終了後店内照明を消灯する。	引き続き取り組みを実施する	実施いたしました
省エネルギー・ 省資源の行動の 実践 ・冷蔵ケース	・各売場の冷蔵ケースの設定温度調整、商品別保管温度帯を維持する。 ・冷蔵ケースのナイトカバーの設置、夜間の温度変化をなくして、圧縮機の稼働時間を短縮する。	引き続き取り組みを実施する	実施いたしました
省エネルギー・ 省資源の行動の 実践 ・OA機器	・コピー機の省電力モードの設定をする。	引き続き取り組みを実施する	実施いたしました

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 1 年度目（令和 4 年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区 分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電 力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値（クレジット等）の活用状況

計画期間 1 年度目（令和 4 年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

・廃棄物の抑制として、コピー用紙の削減（両面コピーの推進及び裏紙の利用） ・自動車利用の抑制（マイカー通勤は原則禁止している） ・環境教育：従業員への環境教育を1年一回以上の実施。
--

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

・ノー残業デー：毎月第2水曜日・木曜日の推進 ・営業終了後は、店内照明、エスカレーター、エレベーターを停止する。
--